



●発行 2016.2.15. NPO 法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所

●発行責任者 川岸卓哉

■福島事故からエネルギーシフトに向けて、 「日本と原発」上映会&講演会 開催報告■

1月31日、川崎市平和館において、原発ゼロへのカウントダウン in かわさき実行委員会との共催で『上映会&講演会』を開催した。

第1部は弁護士、河合弘之監督による映画「日本と原発」上映会、第2部は市民電力連絡会会長の竹村英明氏による「どうなる電力小売自由化と再生可能エネルギー」講演会で、映画に145人、総勢180人参加の大変充実した集いとなった。

◆映画では、福島原発は大津波による全電源喪失対策が必要だと指摘されていたにも関わらず、これを無視した東電(株)と国策が生んだ人災であったこと、事故直後は政府、東電本社、現場間で緊迫したやりとりがあり、最悪の場合は、半径250キロ圏まで避難を要する国家壊滅の危機が叫ばれていたという恐ろしい事態だったことを改めて明らかにした。浪江町の子供達からの「自分達の街に戻りたい」という訴えに、町長が涙ながらに「大人の責任で街を再生させなければ」と語っていたことが印象的だった。福島原発事故の真相と、原発は人類と共存できないことを知る素晴らしい映画だった。



川崎市平和館の屋内広場に、原発のこと、再生可能エネルギーのこと、電力小売自由化のことに関心を寄せる人が大勢詰めかけた



「どうなる電力小売自由化と再生可能エネルギー」講師の竹村英明さん

◆講演では、4月から電力小売全面自由化が開始されるとあって、参加者の関心は強い。電力自由化とは「誰でも自由に電気を創れる、売れる、選べる」ということ。世界では電力システムの改革が進んでおり、まだ未改革の国はOECD諸国の中で日本だけ。ドイツは再生可能エネルギーが50%、スペインでは風力だけで60%というのだから驚きだ。(注1)

電力自由化は、再生可能エネルギーを発展させる可能性を秘めているが、政府は、電力小売会社に「需要計画と供給計画を守る義務」を課す等、厳しい条件をつけたり、「再エネ」の表示を認めない(運動の結果FIT再エネの表示を認めた)等、再エネを抑制する方策がとられているが、多くの消費者が再エネを選択すれば、大きく発展させる可能性を有している。東京電力はドコモなど多業種と提携して「怪しい電気」を売り出すが、惑わされてはならない。全面自由化による市場は8兆円、雇用も生ま



れ、エネルギーシステム改革の力になる。再エネの電力不足で停電を心配する人がいるが、全ての電気が
プールされ、そこから不足分も供給されるので心配無用。市民電力連絡会ではパワーシフト宣言（自然エ
ネルギー買いたい宣言）のキャンペーンを進めており、登録者には電力会社の紹介情報をメールで送って
くれるとのこと。多くの方が登録して自然エネルギーの電力会社を応援しよう。

正会員 小久保 善一

(注1)ドイツ、2013年4月18日正午、太陽光と風力で、全電力需要の50%を供給。

スペイン、2012年4月16日午後3時30分、風力発電だけで、全電力需要の60%を供給。

■地域の力を一つに！「川崎地域エネルギー市民協議会」設立■



太陽光発電など再生可能エネルギーの拡充へ向けて「協議会」を結成!

1月21日、川崎地域エネルギー市民協議会の設立総会がありました。この協議会は、川崎地域において、再生可能エネルギーによる創エネルギー、省エネルギー及び蓄エネルギーを推進するために活動する市民が連携・共同し、災害に強い、エネルギーの地産地消、地域分散型のまちづくりを実現することを目的として設立されました。

設立時の参加団体は、私たちNPO法人「原発ゼロ市民共同かわさき発電所」と、NPO法人「アクト川崎」、「かわさき市民共同おひさまプロジェクト」、NPO法人「川崎フューチャー・ネットワーク」、「マンション管理組合発電所」、「ミツバチの会」（原発ゼロから自然エネルギーをすすめる多摩区民の会）です。協議会の代表はアクト川崎の竹井^{ひとし} 斎さん、事務局長は私が務めることになりました。

設立総会記念講演では、『新しい時代をひらく地域エネルギー』と題して、市民電力連絡会会長の竹村英明さんにご講演頂きました。川崎市環境局地球環境推進室の井田淳課長、神奈川県産業労働局エネルギー部地域エネルギー課の天野一課長、川崎市新エネルギー振興協会の鈴木和彦会長には来賓としてご挨拶頂きました。



講師の竹村英明さん

協議会の本年度の活動方針は、①川崎の地域エネルギーの課題に取り組む各市民団体との連携の輪を広げてのネットワークの拡大、②各団体で横断的に取り組む必要のある課題として、国の固定価格買い取り制度に対する意見表明及び川崎市再生可能エネルギー推進条例市民案について、共同して検討・発表、③川崎市との連携強化によって行政市民協働型事業として、川崎市多摩区中野島市営住宅屋上への太陽光発電設置の可能性を含め、川崎市が公共施設への屋根等を提供するスキームについて、共同研究・提案を行うことです。

川崎において、想いを同じくする市民・団体が繋がり、一つになって、地域から再生可能エネルギーを進める礎として、この協議会を発展させていきたいと考えています。みなさまのご参加、ご協力よろしくお願いいたします。

理事長 川岸 卓哉



■祝！我が川岸理事長、

かながわ若者生き生き大賞〈キララ賞〉を受賞！！■

当 NPO 法人の川岸卓哉理事長が 第25回かながわ若者生き生き大賞〈Kanagawa Young Right Alternative Livelihood Award=キララ賞〉を受賞し、贈呈式が2月6日に新横浜「オルタナティブ生活館」でありました。

キララ賞とは、未来志向型の活動をする神奈川の若者たちを応援しようと、生活クラブ生協神奈川と福祉クラブ生協が1991年に創設したもので、これまでの受賞団体・個人は40件を数え、今年度は川岸さんが個人として、「ベイジョ・メ・リーガ」（在日ブラジル人の子どもたちと交流を続ける東海大学の学生さんたち）が団体として受賞し、それぞれに副賞50万円が贈られました。

川岸さんの受賞理由は、「川崎という地域に根差し、弁護士としてまた一市民として活動している点が評価できる。若い発想で、多くの人を巻き込みながら活動を広めていきたいという姿勢を応援したい。賞を贈ることで活動の継続性と広まりに期待したい」とのこと。今回の受賞は川岸さん個人の活動はもとより、「原発ゼロ市民共同かわさき発電所」の活動も評価されたものと思っており、会員の一人としても、キララ賞への推薦人としても、本当に嬉しく思います。

生活クラブ生協は、東日本大震災と福島原発事故の教訓から、食（F）、エネルギー（E）、ケア（C）を自給する暮らし・地域づくり＝「FEC 自給圏」を掲げ、市民一人ひとりの暮らしを足元から変えていくことを方針としています。当 NPO 法人も「エネルギーの自給」を主たるテーマとして活動していますので、目指すところは同じといえます。

贈呈式後の交流会では、さっそく多くの講演依頼や取材を受け、この受賞を機に様々な団体・個人とつながることで、再生可能エネルギーへの取組みが広がることを期待します。そして私たちも、この若きリーダー川岸理事長とともに、原発ゼロ社会の実現に向けて活動を進めていきたいと思っております。

理事 石村 早苗



■原発ゼロへのカウントダウン in かわさき集会 3.13■

2012年3月11日から始まり、今回が第5回目となる「原発ゼロへのカウントダウン in かわさき集会」。つまり、原発事故から丸5年が経つということ。事故から私たちは何を学んできたのでしょうか。

原発に対しての考え方や感じ方は様々だけど、「原発は嫌だ」という思いが同じならばどなたでも参加大歓迎です。

私たち NPO 法人の生みの親とも言える「原発ゼロへのカウントダウン in かわさき」実行委員会の主催で、もちろん、私たちも出展します！

飲食ブースやパフォーマンスも催されるので、小さいお子さん連れでも楽しめます。13時からは集会が始まるので、ぜひ午前中にお出かけくださいね。3/13、中原平和公園でお待ちしております。

3.11から5年
チェルノブイリから30年

2016
3.13
Sun
中原平和公園

だから、原発ゼロ
守りたいのは未来

第5回
原発ゼロへのカウントダウン
in かわさき集会

11:00開場 12:00文化行事 13:00集会 : 終了後デモ
会場 中原平和公園 (元住吉駅より徒歩5分: 武蔵小杉駅より15分)
ゲスト 秋山豊寛 日本初の宇宙飛行士 著書「原発難民日記-怒りの大地から」
向井雪子 チェルノブイリ子ども基金理事・未来の福島子ども基金世話人
原発関連のブース・リレートーク・飲食ブースあり

〒210-8544 川崎区砂子1-10-2-7F TEL 044-211-0121/FAX 044-211-0123
連絡先川崎合同法律事務所内
オフィシャルサイト <http://genpatsu-zero.com/>
原発ゼロへのカウントダウン in かわさき実行委員会

【編集後記】

フキノトウを頂戴したので天ぷらにし、自然からの恵みに感謝しながら春の香を味わいました。

先日、女性の大臣の口から言論統制につながるような発言があり、とても残念で仕方がありません。新聞を開いても、いつか来た道を辿るのではないかと記事が多く見受けられ、不安になります。私たちが守りたいのは強い国家ではなく、私たちの生活と平和です。(加藤伸子)

※今月号は自己紹介コーナーをお休みさせていただきました。

■NPO 法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所■

ホームページ

<http://genpatuzero-hatuden.jimdo.com/>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/genpatuzero.hatuden>

連絡先 TEL 090-7948-6189 (川岸)

